

2

問題

次の日本語を英訳せよ。

(50 点)

- (1) 我が国の天然資源が乏しいことに文句を言っても、どうにもなるものではない。むしろ、この不利な状況をできるだけ上手に利用することである。(20 点)
- (2) 広告の目的は商品をなるべく多く売だけでなく、新製品について有益な情報を大衆に伝えることである点を認めねばならない。そのうえ、主として広告主やスポンサーが払う金のために、新聞代が安くて済むし、興味あるテレビ番組を楽しめるわけである。(30 点)

解答

- (1) Complaining about the few natural resources we have in our country won't get us anywhere. Instead, we should make the best of this bad situation.
- (2) It must be admitted that the purpose of advertising is not only to sell as many products as possible, but also to give the public useful information on new products. Moreover, it is largely due to the money paid by advertisers and sponsors that we need not pay much for newspapers and can enjoy interesting television programs.

別解

- (1) It is no use complaining about the few natural resources in our country. Instead, we must try to make the best we can of this bad situation.
- (2) We must admit that advertisements are used to give people helpful information on new products, as well as to sell as many products as possible. In addition, the money paid by advertisers and sponsors is the main reason we pay so little for daily papers and can enjoy entertaining TV programs.

解説

- (1) 「…することである」の意味内容を考える

■組み立てのポイント

- 第1文は、日本語通りに「～に文句を言っても」を譲歩節で表し、「どうにもなるものではない」を表す節を続けてもよいが、「～に文句を言うこと」を主語にする無生物主語構文を用いると簡潔にまとめることができる。
- 第2文では、「むしろ」を「(文句を言うのではなく) その代わりに」と考えて instead を文頭に置き、主語を we とし文を構成すればよい。「～をできるだけ上手に利用する」は make the best of ～ という慣用表現を利用するとよい。
- 第2文の「…することである」には、日本語の書き手の主張が表れているととらえることができる。そこで、この部分の意味内容を考えてみると、聞き手に対し具体的にどう行動すればよいかわかるので、should (…するとよい) や must (…すべきである) のような助動詞で簡潔に表現できることに気づくだろう。

■語句・表現

- 「(～について) 文句〔不平〕を言う」complain (about [of] ～)

- 「我が国の天然資源が乏しい」は「我が国における乏しい天然資源」として the few natural resources (we have) in our country としたり、「我が国における天然資源の不足」として lack of natural resources in our country としたりして表現できる。「我が国の」とあるとつい of を使いたくなるかもしれないが、ここは「我が国にある」という場所を示す表現なので、in が適切。前置詞についても、表すべき意味内容をよく考えて使うものを吟味しよう。
- 「どうにもなるものではない」は「役に立たない；無駄である」と読み換えて「～の役に立たない」の意の get ~ nowhere を用いるとよい。「文句を言うこと」を主語に complaining about ~ will get us nowhere [won't get us anywhere] (～について文句を言うことは私たちの役に立たない) と無生物主語構文で表現できる。主語を「人」にして we won't [can't] get anywhere (by) complaining about ~ とする方法もある。また、「…することは無駄である」と考えて it is no use …ing などを用いてもよいだろう。
- 「この不利な状況をできるだけ上手に利用する」は「(乏しい天然資源しか持たないという) 悪条件の下で善処する」と考え make the best of this bad situation と表すとよい。



発展

この表現を押さえておこう！

☆ **make the best of ~** 「～ (=不満足な事情・条件) を何とかうまく切り抜ける」

Ex. We are stuck here so we might as well *make the best of it*. (我々はここから動けないので、その状況を最大限努力して乗り切ってはどうかろう。)

(2) 「安くて済む」を英訳しやすく読み換える

■組み立てのポイント

- 第1文では「…である点を認めねばならない」が主節になる。
方法1：it ~ that … の形式主語構文を用いて it must be admitted that … と表す。
方法2：we を主語に立てて we must admit that … と表す。
この that … 以下は「広告の目的はAだけでなくBである」が入る。
A = 「商品をなるべく多く売ること」
B = 「新製品について有益な情報を大衆に伝えること」
したがって the purpose of advertising is not only A but (also) B の形にすればよい。A, B は to 不定詞などにすればよい。
- 第2文は「新聞代が安くて済み、興味あるテレビ番組を楽しめるのは、主として広告主やスポンサーが払う金のためである」という表現なので、it is ~ that … の強調構文が利用できる。「～のため」は「目的」ではなく、「原因・理由」の意である点を間違えてはならない。日本文最後の「わけである」は訳出する必要はない。
- 「新聞代が安くて済む」「新聞代」を直接訳すのは難しいだろうが「済む」という部分の意味内容を考えると、これは「新聞に多くを払う必要がない」ということになる。**否定文では助動詞の need が使える**ので、we need not pay much for newspapers と簡潔に表せる。we pay so little for ~ などとしてもよい。

■語句・表現

- 「広告」advertising ; advertisement

- 「商品をなるべく多く」は「なるべく多くの商品（を）」と考えて、as many products as possible のようにする。possible の代わりに they can を用いることを思いついたかもしれないが、ここでは代名詞 they だと指すものが存在せず、‘総称’や‘権威’の they だとしても合わない。なのでここでは使えない。こうした定型表現であっても、機械的に当てはめる前にその適切さを確認する必要がある。
- 「～について有益な情報」useful [helpful] information on [about] ～
- 「伝える」は convey, provide などが使えるが、give でもよい。
- 「大衆」the public ; the masses ; people
- 「(広告主やスポンサーが払う) 金のために」は because of the money, thanks to the money としてもよいし、強調構文を用いて it is due to the money … that ～ のようにもできる。その他「金が主たる理由である」と考えれば the money is the main reason としてもよい。
- 「広告主」advertiser
- 「スポンサー」sponsor
- 「興味あるテレビ番組を楽しめる」we can enjoy (watching) interesting [entertaining] TV programs